

出資団体台帳

出資団体名	34.長良川鉄道経営対策事業基金
-------	------------------

所管課	都市計画課

1. 出資団体概要 (令和6年4月1日現在)

①法人分類	その他 (事業基金)		
②業務分類	運輸・道路 ()		
③主な活動範囲	県内規模 ()		
④所在地	関市元重町74番地の1		
⑤設立年月日	昭和61年12月11日		
⑥従業員数	役員	(常勤)	(非常勤)
	正社員	(常勤)	(内出向)
⑦役員等	役職名	氏名	市所属・職位
	代表者		
	役員		
⑧資本金 701,000 千円			
出資者	資産種別	出資額	出資割合
高山市	拠出金	500千円	0.1%
他自治体	拠出金	599,500千円	85.5%
その他	拠出金	101,000千円	14.4%
【備考】			

⑨設立目的			
	定款に掲げる主な事業内容	現在の実施の有無	主な受益者
	鉄道事業への経営対策	実施 理由 ()	事業者
		理由 ()	
		理由 ()	
		理由 ()	
		理由 ()	
		理由 ()	
		理由 ()	
		理由 ()	
		理由 ()	
		理由 ()	
		理由 ()	
⑩地域の関わり			
高山市において鉄道運行していないものの、岐阜県内の中濃地域から北濃地域を結ぶ地方鉄道として、地域住民の移動手段となっている。			
⑪市民の関わり			
高山市民の中濃地域、北濃地域における移動を担っている。 (かつては荘川地域住民の移動手段として活用されていたが、現在は最寄り駅（北濃駅）までのバス移動手段もなく、利用者は少ないと思われる。)			
⑫経緯			
出資時の状況	昭和61年に基金が設置され、旧荘川村時代に500千円を拠出した。		
その後の経緯	積立期間終了に伴い10年間（R8年度まで）の延伸措置を行っている(前回平成29年3月末の積立期間終了時に10年間の延伸措置を行った)。		

5. 課題等

項目			市所管課	団体
S W O T 分 析	内部分析	強み	・ 岐阜県内のローカル鉄道であり事業規模は大きくないものの、中濃地域から北濃地域において一定のシェアを堅持している。	
		弱み	・ 人々が移動を自粛すると収益が減少する。	
	外部分析	機会	・ 様々なイベントでてこ入れを図った効果により、利用者が回復して一定の収益の改善が期待できる。	
		脅威	・ 沿線人口の減少により利用者が減少している。	
事業面 （必要性、公益性、採算性、収益性など）			・ 当基金は長良川鉄道の経営を助成するため設置された基金であり、郡上市が管理している。全額を1年満期の定期預金に預け入れ、その利息で長良川鉄道を支援している。	
財政面 （財務状況の現状や将来の見通しなど）			・ 乗客数は回復傾向にあるものの、原油価格高騰等の影響から令和6年3月期の経常損益は赤字となっており、厳しい経営状況である。	
施設・設備 （所有する建物や設備等の状況など）			—	
組織・人員体制 （役員や従業員等の状況など）			・ 郡上市が事務局として基金事業を管理している。	
公共施設等総合管理計画 （方針と今後の考え方）			—	
自由記載 （団体や事業の今後のあり方や果たすべき役割について）				